

【22_156思考系メルマガ】『もうはまだなり、まだはもうなり』(相場格言考察シリーズ)

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

読者の方からのリクエストで、「有名な相場格言に対して、クロさんの思う所」をテーマにメルマガ書いたらどうでしょう？

という面白い提案を頂いたので、今回はそんなテーマで書いていこうと思います。

好評でしたら、不定期シリーズ化しようと思っているので、感想お待ちしてます(笑)

□■ もうはまだなり、まだはもうなり…「もう」も「まだ」も自分で決める

この格言も、検索すると意味の解説がゴロゴロ出てくるくらい有名なフレーズなので

今更僕が意味 자체を説明する程の話ではないかもしれません

「”もう”ここが押し目」だと思うと、まだ下落が続く相場だったり

「”まだ”下値を伸ばすだろう」と思って握ったショートが、その後担がれたり…などなど

トレードをやっていて苦々しい想いと共に重ねる経験をまとめられた言葉ですが

みんな、それは何となく「頭では」理解しているのだと思うのです。

ですが、それを自分の利益に結びつける行動に繋がって行かない(人が多い)からこそ

このような教訓というか、格言のようなものも自然と発生してくるのでしょうか。

実際ほとんどの人は、「まだ」と「もう」のタイミングが、いつ訪れるのかを分析できるようになりたい。

そう考えていると思いますが、その考え方自体が実のところ、トレードにおける「勝ち」を遠ざけているのです。

どういうことかというと、相場は『常に不確実』なものであり、「もう」「まだ」を確かな情報として前もって把握する事はできません。

自分が「もう」だと思っても「まだ」の時はあるし、逆に「まだ」だと思ったら「もう」の局面にきていたという事が当たり前に起こるのが相場です。

なので、それを理解したうえで僕らがやることはひとつ。

それは『一貫した基準で決める』ということです。これまでに何度も言ってきたことですね(笑)

相場は「(値動き)こたえ」を事前に示してくれない。だからこそ、僕らがするべきなのは

【何を基準にして、「もう」「まだ」の局面を仕分ける(決める)か】を

自分のルールとして明確にすることなのです。

それに準ずる話は、以前モーニングライブでも取り扱ったので、参考までにご覧頂ければと思います。

▼大事なのは『自分で決める』ということ(モーニングライブ)▼

<https://youtu.be/PiklyqHgkRs>

明日から、また相場が動き始めます。

10人トレーダーがいれば、それぞれ10通りの水準で悩みを持ちながら、試行錯誤を繰り返すことになります。

それが窮まると、わかりやすい「こたえ」が欲しくなる気持ちになることもあるでしょう。

きっと、僕にもそれはまだあると思います。

ですが、それを求め始めた時、相場の本質に沿って勝つことからどんどん遠ざかっていくことになります。

最後に必要なのは『自分で決める』ことにある。

そこだけは忘れないようにしながら、「もう」「まだ」に惑わされず戦っていきましょう。